

# 戦国デイズ ニュースレター

サイト開設 10 周年 特別号

発行日 2016.12.01

発行所 <http://sengokudays.com/>

## ごあいさつ

はろ～！みんな大好き家康公だよ。戦国デイズは今年 12 月 1 日にサイト開設 10 周年を迎えたのじゃが、これもそちのお陰じゃ。ありがとねー。

それにしても見よ、この安定の低調感(笑)。

然しながらこの 10 年、スタッフ武将には様々な葛藤があったみたい。というわけで 10 年間一度も口外せず、溜めに溜め込んだ本音やストレス、疑問などを、ここで吐き出してもらおうと思う。どうなることやら、それでは以下楽しんでいってね！

## 日記執筆武将による談話

話：戦国デイズ日記執筆担当・李舜臣氏、藤原惺窩氏、小西行長氏  
朝鮮語通訳：対馬国 外交僧・景轍玄蘇（けいてつーげんそ）氏  
日時：戦国 28 年 11 月 20 日／場所：対馬・デイズ支部式階和室

惺窩：初期からの日記執筆メンバーである行長殿にお伺いしたのですが、戦国デイズで昔と今とで変わったことはありますか？

行長：投稿スタイルかな。昔は短文で更新頻度が比較的高かったけれど、最近は長文で戦国写真付きになったから、その分更新頻度は落ちたよね。

舜臣：時代に逆行していますね(笑)。逆に変わっていないところは？

行長：おまえみたいな外国人もメンバーに加わり、しかもトップ？張ってるし、意味がわからないところは相変わらずだと思う。(笑)

## 戦国デイズのあゆみ

うっす、松永久秀だ。デイズは戦国 18 年 12 月 1 日、明智光秀くんの日記から始まった。何で光秀からなんだよ、暗いだろ。それから 10 年、俺様は男女の契りについてのマニュアル本を四冊出したが、いずれも全く売れなかった。おまけにこの間彼女が一人もできなかった。世の中一体どうなってんだ、おかしいだろ！？ってしまった、デイズじゃなくて自分の話をしてしまった。ごめんごめん、こういうこともあるよな。  
(ねーよ。スタッフ武将一同)



伊達政宗

「おぼんでがす～。10 周年まんずおめでと～」



毛利輝元@毛利秀元くんの日記：第1回  
戦国バレンタインももらわずに



秀吉 with 西笑承兎・清正@藤原惺窩くんの日記：第8回 秀次事件と大地震と大戦争



堀尾吉晴@山内千代さんの日記：第35回  
戦国ジャイアントカブリコ (いちご)

惺窩：私は武将でなく儒者ですね。所で誰の日記が一番人気なのでしょう？  
行長：[デイズ本部](#)に問い合わせても、それは絶対に教えてくれない。その理由が、あなたのモチベーションが下がるからって。

舜臣：行長殿は余り人気がないってことか。(笑)

惺窩：それはそうでしょう。キリシタンなんて、ねえ。(笑)

行長：なんだと、この中華かぶれが(笑)。個人的に気になる日記とかある？

舜臣：毛利秀元くんの日記。あれは反則。(笑)

行長：アハハ、十代は卑怯だよな。俺は結構、惺窩先生の日記がヤバイと思っている。島流しかよーみたいなの。

惺窩：島流しじゃないですよ。(笑)

行長：あと、先生の日記に出てくる、姜沆とか赤松とか木下勝俊とかも気になる。誰だよって感じ。(笑)

舜臣：脇役が光る日記は面白いですよ。山内千代さんの日記には茂助（堀尾吉晴）さんとやらが出てきますが、彼女と茂助さんってできてるんですか？

行長：おいおい嘘だろ、左水使（サスサ）サマはあーいう女がタイプだよ。

舜臣：はあ？何でそうなるんですか。

惺窩：赤くなってる！

舜臣：なってません！

行長：それじゃ何か、日本の女には興味はないと。

舜臣：だから何でそうなるんですか！

惺窩：(笑)。行長殿、その辺で。

行長：えーつまんなーいー

舜臣：ご、後藤又兵衛くんの日記は、自分のこと、ほとんど書いてないですよ。

行長：あれはダミアンの日記だよ。って話題変えんなよ。(笑)

惺窩：今後、新しく日記執筆に加わる武将もいるのでしょうか。

行長：もういいよ(笑)。あ、ココ戸締りする時間だって。話したりないけど、舜臣、最後に言いたいことある？

舜臣：デイズに日記を書かせてもらったことで私は自分の気持ちに整理が付き、日本軍撃滅の信念を固める契機となりました。カムサハムニダ、ありがとー。

行長：ええッ、駄目じゃん！こいつにもう、書かせんな。

惺窩：いやいや、益々今後の戦国デイズの展開から目が離せませんね！

## 技術面で談話

質問者：戦国デイズ本部 広報課担当・片桐且元氏

回答者：同 サイト 構築担当・細川幽斎氏

日時：戦国 28 年 11 月 17 日 / 場所：京都伏見・デイズ本部会議室式

且元：サイト構築での苦勞をお聴かせください。

幽斎：ずばりスマートフォン対応。みんな PC だった 4、5 年前より作業量が二倍になった。PC 用とスマホ用、二つのデザインを制作せにやならんのよ。しかし今思うと PC 用デザインだけでもよかった気もする。わし、戦国ガラケーじゃし。

且元：そんなこと言わないでくださいよ。私、戦国スマホだし。でも時代の流れが速いですよね。

幽斎：おまえみたいに時代に流されている人間のせいだな。

且元：しどい(笑)。他に苦勞されていることは？

幽斎：戦国デイズは WordPress というブログ構築ツールを使っているのだが、記事を書く分には便利だけど、サイト構築は命懸けじゃよ。php コード書き間違えて、デイズの画面を真っ白にしたこと数限りなし。その度にサイト閉鎖かと思ったわい。

且元：しかしその度に復旧されたのですね。

幽斎：根性じゃよ(笑)

且元：気を付けている点は？

幽斎：保守。あ、わし政治的にはこう見えてリベラルなんだけど、先ほど申したようなトラブル発生は付きものじゃから、バックアップは手動でまめに取るようにしておる。全部パーにして執筆武将らに殺されたらたまったものではない。侍の死因が合戦ではなく日記ってねえ…。



小西行長 with 黄海道 白河の人々@後藤又兵衛くんの日記：第 61 回 ダミアンのハチャメチャ黄海道支配

## 戦国デイズニュースレター

### サイト 10 周年記念特別号

スタッフ：片桐且元、景轍玄蘇、伊達政宗、松永久秀、明智光秀、徳川家康

企画・編集：宗義智

デザイン：上杉景勝

校正：本多正純

協力：石田三成、大谷吉継

編集局長：小瀬甫庵

発行所：<http://sengokudays.com/>

且元：本望じゃないですか。

幽斎：冗談じゃないよ(笑)。

且元：然しながら、サイト構築から完全オリジナルなのは、デイズのウリでもあります。

幽斎：そうそう、どこか素人ぽいトコがウリじゃよ(笑)。

### 読者の声

なし。(笑)

### 編集後記

やっちまったーッ！！対馬島主の宗義智（そうよしとし）です。戦国デイズ本部企画課の私は、10周年のイベント企画を担当、スタッフ武将と連携しながら無事当ニュースレター発行に至りました。然しながら、読者の声として戦国デイズトップページにて、ここ二週間募集をかけ、上記の通りスペースも確保していたのですが、どなたからのご応募もありませんでした(笑)。企画がわるかったのかなと私が肩を落としていると、ボランティアで当ニュースレター作りを手伝ってくださった大谷吉継様が「義智くん、デイズはキホン、ウノさましか読者がいないと思った方がいいよ。」と笑って戦国マショマロをくださいました。「しかしこのスペースはどう埋め合わせすればいいでしょう？」と私が尋ねると「そのままでもいいだろう。」とキホン、ボランティアは絶対やらないけど、デイズだけは別という石田三成様がアドバイスをくださいました。「しかし10年目を迎えた初日がこんな始まりで執筆武将のモチベーションが心配です。」と私は再び尋ねると、「だからいつものことだからケンチャナヨ（大丈夫）。」と大谷様が笑って私の口にマショマロをたくさん詰め込みました。「ウノさま一人だけは確実に読んでくれると思うのだ。」と石田様が左手に乗せたマショマロを右手で叩いて、ポーンと高く上がって落ちたマショマロを口の中でキャッチしました。すると「三成、スゴイよ！やっぱ天才だよ！！」と大谷様が石田様のマネをし始めて、どちらが高く上がって落ちたマショマロを口の中でうまくキャッチできるか競争になって、最後の方は結局私一人でニュースレターの編集作業を終えました。だけど、こういうテキトーな所だからこそ私は、ここで楽しくやれているのかもしれない(笑)。こんな戦国デイズですが今後とも宜しくお願いします。